

2026年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年4月14日

上場会社名 ユナイテッド&コレクティブ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3557 URL <http://www.united-collective.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 坂井 英也
 問合せ先責任者 (役職名) 経営財務部部長 (氏名) 鈴木 友啓 (TEL) 050-3091-3557
 定時株主総会開催予定日 2026年5月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年5月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期の業績 (2025年3月1日~2026年2月28日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期	6,460	△0.5	△15	—	△48	—	△227	—
2025年2月期	6,492	5.2	115	118.4	87	123.7	59	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年2月期	△52.35	—	△56.0	△1.2	△0.2
2025年2月期	8.93	8.88	225.4	2.2	1.8

(参考) 持分法投資損益 2026年2月期 ー百万円 2025年2月期 ー百万円

2026年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期	3,891	527	12.7	△24.74
2025年2月期	3,974	342	7.9	△57.80

(参考) 自己資本 2026年2月期 496百万円 2025年2月期 314百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年2月期	199	△602	241	1,318
2025年2月期	122	△237	46	1,480

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2027年2月期の配当予想は未定といたします。

3. 2027年2月期の業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,960	7.7	58	—	23	—	2	—	△4.35

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期	4,954,300 株	2025年2月期	4,489,300 株
② 期末自己株式数	2026年2月期	180 株	2025年2月期	180 株
③ 期中平均株式数	2026年2月期	4,784,505 株	2025年2月期	4,218,774 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(持分法損益等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が見られる一方で、原材料価格の高止まりや地政学リスクの長期化に加え、実質賃金の伸び悩みによる個人消費の低迷など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。外食産業におきましては、インバウンド需要の拡大等により市場全体は持ち直しの兆しを見せたものの、相次ぐ食品価格の値上げや人手不足に伴う労務コストの上昇が店舗運営の大きな負担となっております。また、消費者の生活防衛意識が想定以上に高まっており、外食機会の選別や客単価への影響が顕著に見られるなど、極めて厳しい経営環境が続いております。

このような環境下、当社におきましては、2025年2月末に達成した債務超過の解消による健全な財務基盤のもと、持続的な利益成長に向けた収益構造の再構築に注力いたしました。主力の「てけてけ」業態においては、2ヶ月に1度の頻度でメニュー改廃を実施し、鮮度の高い付加価値の提供に努めてまいりました。しかしながら、継続的な物価高騰に伴う価格改定の影響もあり、年度後半において客数が前年を下回るなど、集客面での課題に直面いたしました。これを受け、2026年1月より一部ドリンクを税込88円で提供するなど、コストパフォーマンスを打ち出した訴求施策を実施し、客数の回復と来店頻度の向上を図っております。「the 3rd Burger」業態におきましては、パンズの新規開発を含む期間限定商品の投入など、商品力の強化とブランド価値の向上に努めました。店舗展開につきましては、業態変更や新業態「もつ焼てけ八」を含む5店舗を新規出店し、3店舗を退店いたしました。この結果、当事業年度末における店舗数は83店舗（前年同期比2店舗増）となりました。

以上の結果、売上高は6,460,676千円（前年同期比0.5%減）となり、売上総利益は4,790,312千円（前年同期比1.5%減）、営業損失は15,853千円（前年同期は115,594千円の利益）、経常損失は48,673千円（前年同期は87,048千円の利益）、当期純損失は227,518千円（前年同期は59,751千円の利益）となりました。

なお、当社は単一の報告セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

今後は、足元で実施している既存店の客数・売上回復を最優先事項とし、あわせて戦略的な新規出店と運営効率のさらなる向上を推し進めることで、次期における速やかな業績回復と黒字化の実現に向けて邁進してまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は3,891,869千円となり、前事業年度末と比較して82,561千円の減少となりました。これは主に、流動資産が54,974千円増加した一方、固定資産が137,535千円が減少したこと等によるものであります。

また、当事業年度末の負債総額は3,364,808千円となり、前事業年度末と比較して267,166千円の減少となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が168,209千円減少したこと等によるものであります。

当事業年度末の純資産は527,061千円となり、前事業年度末と比較して184,605千円の増加となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ205,146千円増加し、減資により資本金が838,043千円、資本準備金が1,529,321千円減少し、その他資本剰余金が2,367,364千円増加しました。欠損填補により、その他資本剰余金が2,903,715千円減少し、利益剰余金が2,903,715千円増加しました。また、利益剰余金が当期純損失により227,518千円減少したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前事業年度末と比較して161,293千円減少し、1,318,867千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度末における営業活動による資金の増加は199,276千円（前事業年度は122,243千円の増加）となり

ました。これは、税引前当期純損失168,986千円、減損損失236,900千円、減価償却費235,597千円の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度末における投資活動による資金の減少は602,162千円（前事業年度は237,370千円の減少）となりました。これは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出377,214千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度末における財務活動による資金の増加は241,592千円（前事業年度は46,544千円の増加）となりました。これは、長期借入金の返済による支出442,308千円となった一方、新株予約権の行使による株式の発行による収入409,801千円、長期借入金による収入が274,100千円あったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期
自己資本比率(%)	6.2	△18.1	△7.3	7.9	12.7
時価ベースの自己資本比率(%)	68.4	98.1	112.0	108.8	119.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	20.2	4.4	7.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	6.9	4.6	6.8

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注2) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注3) 2022年2月期及び2023年2月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

2027年2月期の見通しにつきましては、原材料価格の高止まりやエネルギーコストの上昇、人手不足に伴う労務コストの増加など、引き続き予断を許さない経営環境が続くものと想定しております。

このような環境下において当社は、「てけてけ」業態で開始した価格訴求施策による既存店客数の確実な回復を最優先課題として取り組んでまいります。あわせて、「PPM (Preparation Process Management)」戦略のさらなる深掘りにより、店舗運営コストの最適化と生産性向上を徹底いたします。

また、QSC (クオリティ・サービス・クレンリネス) の原点に立ち返り、付加価値の高い商品提供とサービスの向上を通じて顧客満足度を高め、お客様に選ばれ続ける店舗づくりに邁進してまいります。

以上の施策を完遂することで収益構造の改善を図り、2027年2月期の業績につきましては、売上高6,960百万円、営業利益58百万円、経常利益23百万円、当期純利益2百万円を計画しております。

なお、上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により記載の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、株主構成及び国内の同業他社の動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,480,160	1,518,867
売掛金	237,030	258,148
商品及び製品	52,720	53,290
原材料及び貯蔵品	11,457	8,898
未収還付法人税等	-	6,614
前払費用	126,101	120,359
その他	37,784	34,051
流動資産合計	1,945,255	2,000,229
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,498,105	2,497,397
減価償却累計額	△1,446,112	△1,587,894
建物（純額）	1,051,992	909,503
工具、器具及び備品	478,571	559,333
減価償却累計額	△370,059	△402,555
工具、器具及び備品（純額）	108,511	156,778
有形固定資産合計	1,160,504	1,066,281
無形固定資産		
ソフトウェア	11,712	1,646
その他	72	72
無形固定資産合計	11,785	1,719
投資その他の資産		
出資金	30	30
長期前払費用	19,183	4,231
敷金及び保証金	784,911	803,911
繰延税金資産	52,336	15,041
その他	424	424
投資その他の資産合計	856,886	823,638
固定資産合計	2,029,175	1,891,639
資産合計	3,974,430	3,891,869

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	247,778	247,338
1年内返済予定の長期借入金	467,705	452,505
未払金	155,460	141,444
未払費用	174,591	173,551
前受金	6,622	4,676
未払法人税等	51,267	-
未払消費税等	26,121	590
預り金	23,732	18,051
賞与引当金	15,405	17,805
株主優待引当金	39,816	52,244
流動負債合計	1,208,500	1,108,207
固定負債		
長期借入金	2,281,065	2,128,056
長期前受金	102,930	86,479
長期預り保証金	3,000	3,000
資産除去債務	36,478	39,065
固定負債合計	2,423,474	2,256,601
負債合計	3,631,975	3,364,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	642,896	10,000
資本剰余金		
資本準備金	1,334,174	10,000
その他資本剰余金	1,241,277	704,926
資本剰余金合計	2,575,452	714,926
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,903,715	△227,518
利益剰余金合計	△2,903,715	△227,518
自己株式	△432	△432
株主資本合計	314,200	496,976
新株予約権	28,254	30,084
純資産合計	342,455	527,061
負債純資産合計	3,974,430	3,891,869

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
売上高	6,492,053	6,460,676
売上原価		
商品期首棚卸高	43,588	52,720
当期商品仕入高	1,639,626	1,670,933
合計	1,683,215	1,723,654
商品期末棚卸高	52,720	53,290
売上原価合計	1,630,494	1,670,363
売上総利益	4,861,558	4,790,312
販売費及び一般管理費	4,745,964	4,806,165
営業利益又は営業損失(△)	115,594	△15,853
営業外収益		
受取利息	821	3,212
受取配当金	0	0
受取還付金	-	919
雑収入	373	1,763
営業外収益合計	1,195	5,896
営業外費用		
支払利息	26,303	29,147
株式交付費	308	670
社宅経費	-	4,959
その他	3,129	3,939
営業外費用合計	29,741	38,716
経常利益又は経常損失(△)	87,048	△48,673
特別利益		
営業補償金収入	-	122,358
新株予約権戻入益	2,910	-
固定資産売却益	1,500	-
特別利益合計	4,410	122,358
特別損失		
減損損失	-	236,900
固定資産除却損	-	4,240
助成金返還損	20,428	-
店舗閉鎖損失	4,197	1,529
特別損失合計	24,625	242,671
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	66,833	△168,986
法人税、住民税及び事業税	18,310	21,236
法人税等調整額	△11,229	37,294
法人税等合計	7,081	58,531
当期純利益又は当期純損失(△)	59,751	△227,518

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	371,165	1,062,443	1,241,277	2,303,720	△2,963,467	△2,963,467	△432	△289,013
当期変動額								
新株の発行	271,731	271,731		271,731				543,462
当期純利益又は当期純損失(△)					59,751	59,751		59,751
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	271,731	271,731	-	271,731	59,751	59,751	-	603,214
当期末残高	642,896	1,334,174	1,241,277	2,575,452	△2,903,715	△2,903,715	△432	314,200

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	27,811	△261,201
当期変動額		
新株の発行		543,462
当期純利益又は当期純損失(△)		59,751
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	443	443
当期変動額合計	443	603,657
当期末残高	28,254	342,455

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	642,896	1,334,174	1,241,277	2,575,452	△2,903,715	△2,903,715	△432	314,200
当期変動額								
新株の発行	205,146	205,146		205,146				410,293
当期純利益又は当期純損失(△)					△227,518	△227,518		△227,518
減資	△838,043	△1,529,321	2,367,364	838,043				-
欠損填補			△2,903,715	△2,903,715	2,903,715	2,903,715		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	△632,896	△1,324,174	△536,351	△1,860,525	2,676,197	2,676,197	-	182,775
当期末残高	10,000	10,000	704,926	714,926	△227,518	△227,518	△432	496,976

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	28,254	342,455
当期変動額		
新株の発行		410,293
当期純利益又は当期純損失(△)		△227,518
減資		-
欠損填補		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,829	1,829
当期変動額合計	1,829	184,605
当期末残高	30,084	527,061

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	66,833	△168,986
減価償却費	210,672	235,597
株式報酬費用	4,020	2,322
株式交付費	308	670
雑収入	△373	△1,763
受取還付金	-	△919
固定資産売却益	△1,500	-
固定資産除却損	-	4,240
減損損失	-	236,900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△666	2,399
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	7,076	12,428
受取利息及び受取配当金	△822	△3,213
支払利息	26,303	29,147
営業補償金収入	-	△122,358
新株予約権戻入益	△2,910	-
助成金返還損	20,428	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,394	△21,118
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△10,061	1,989
前払費用の増減額 (△は増加)	△6,390	5,742
立替金の増減額 (△は増加)	△21,505	2,217
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,267	△440
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△90,080	△25,530
未収還付法人税等の増減額 (△は増加)	-	△6,614
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△15,830	△31,370
未払金の増減額 (△は減少)	17,229	△10,121
未払費用の増減額 (△は減少)	1,646	△1,039
預り金の増減額 (△は減少)	△2,209	△5,681
前受金の増減額 (△は減少)	△4,287	△1,945
長期前受金の増減額 (△は減少)	△19,715	△16,451
その他	△18,634	△1,295
小計	167,403	114,805
利息及び配当金の受取額	695	2,720
利息の支払額	△26,303	△26,032
補償金の受取額	-	128,224
法人税等の支払額	△19,553	△20,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,243	199,276
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△400,000
定期預金の払戻による収入	-	200,000
有形固定資産の取得による支出	△237,656	△377,064
無形固定資産の取得による支出	△220	△150
敷金及び保証金の差入による支出	△12,874	△27,910
敷金及び保証金の回収による収入	13,380	2,962
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,370	△602,162
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	171,300	274,100
長期借入金の返済による支出	△667,550	△442,308
新株予約権の行使による株式の発行による収入	542,795	409,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,544	241,592
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△68,583	△161,293
現金及び現金同等物の期首残高	1,548,743	1,480,160
現金及び現金同等物の期末残高	1,480,160	1,318,867

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は、関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
1株当たり純資産額	△57.80円	△24.74円
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	8.93円	△52.35円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	8.88円	—円

(注) 1. 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	8.93円	△52.35円
(算定上の基礎)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	59,751	△227,518
普通株主に帰属しない金額(千円)	22,064	22,947
(うち優先配当額(千円))		
普通株式に係る当期純利益又は 当期純損失(△)(千円)	37,687	△250,465
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,218	4,784
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	8.88円	—
(算定上の基礎)		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	23,250	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません